

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 坂本 偉健	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	国際海外協力事業		
目的	(1) 対象	海外地域住民（島根県との友好交流先、島根県から海外移住した者の子孫）	
	(2) 意図	島根県が持っている様々なノウハウを海外に移転し、地域間交流の拡大を図る。	
事業概要	友好交流を進めている諸外国や海外県人会等から中堅技術者を受け入れて研修を行うことにより、当該国の発展に寄与するとともに、県民との交流を通じて地域における国際協力・国際交流の促進を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	受け入れた研修員の人数	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	人
	式・定義	研修員受入人数	取組目標値					
				実績値	2.0			
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
				実績値				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,807	3,556
うち一般財源 (千円)	2,909	1,562

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

姉妹・友好交流先及び南米の県人会から自治体職員や民間人を受け入れ、行政機関や民間企業等で研修を実施している。平成27年度は、友好交流先のロシア沿海地方から島根県立大学に1名受入。また、JICA日系研修員事業により、在伯島根県人会から推薦のあった者を県東部技術校等に1名受け入れたが、南米地域へ移住した人々の母県・島根への思いは熱く、この事業に寄せる期待は大きい。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国際協力事業として、派遣元との交流促進に貢献した。受講者は、帰国後も島根での経験を活かして活躍している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
予算の制約があり、友好交流先の数に比べて受入人数に限られる。基本的に、吉林省、ロシア沿海地方、寧夏回族自治区から、持ち回りで毎年1人ずつ受け入れている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
県財政の逼迫に伴う予算削減。
- ③原因を解消するための「課題」
活用できる県費以外の事業費や助成制度が見つからない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県民生活の向上に直接寄与する事業ではないが、海外県人会から推薦のあった中堅技術者を受け入れることで、当該国の発展に寄与し、また地域における国際交流の促進が図られることから、JICA日系研修員事業については継続して取り組んでいく。また、姉妹・友好交流先からの受入については、これまでも国際協力事業として成果をあげてきたところではあるが、より一層多文化理解を促進し、双方にとってメリットがあるよう、受入先派遣元とのニーズのマッチングを行うことも検討する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）